

科目区分	専門教育科目	科目名	発達と老化の理解 I		科目コード	40901	担当者	植木明子	
対象学生	介護福祉士コース1年生		学期区分	後期	単位数	2	卒業要件	必修	
							免許・資格要件	介護福祉士必修	
科目の主題							成績評価の方法と割合		
発達の観点からの老化に関する心理や身体機能の特徴に関する基礎的知識を学ぶ							定期試験 (70%) 臨時試験 (10%) 提出物 (10%) 受講態度 (10%)		
科目の到達目標							教育目標に基づく学修成果の到達目標		
							誠実な人柄と人間力 (尽心)	高度な知性と創造力 (創造)	明確な意志と実践力 (実践)
1.	人間の成長と発達が理解できる。						○	○	
2.	老年期の発達と成熟が理解できる。						○	○	
3.	老化が及ぼす心理的影響・価値観・受容が理解できる。						○	○	○
4.	要介護による高齢者の心理が理解できる。						○	○	○
5.	老化に伴う体の変化と日常生活について言える							○	○
授業方法									
必要に応じて配布プリントやパワーポイントを使った講義方式の授業とさらに疑似喪失体験や高齢者疑似体験を行います。									
準備学修 (予習、復習等に必要な時間または具体的な学修内容)									
夏季休暇中に課題として取り組んだことを、後期聞き書き集にまとめます。実習の現場で高齢者の特徴がつかめるよう、学習したことは配布プリントやノートをきちんとまとめていくこと。									
授業計画									
第1回	人間の成長と発達 人間の発達とは								
第2回	人間の成長と発達 人間の発達段階と発達課題								
第3回	高齢者の食に関する思いを聞き、発達課題を考えることができる								
第4回	人間の成長と発達 発達と個人								
第5回	高齢期の発達と成熟 老年とは 老年期の定義								
第6回	老年期の発達と成熟 老年期の発達課題と留意点								
第7回	老年期の発達と課題 サクセスエイジング								
第8回	老化に伴うこころの変化と日常生活 老化が及ぼす心理的影響								
第9回	老化に伴うこころの変化と日常生活 老いの価値観・受容 (喪失体験)								
第10回	老化に伴うこころの変化と日常生活 高齢者の心の問題と精神障害								
第11回	老化に伴うこころの変化と日常生活 要介護による高齢者の心理 (高齢者体験)								
第12回	老化に伴うからだの変化と日常生活への影響①								
第13回	老化に伴うからだの変化と日常生活への影響②								
第14回	老化に伴うからだの変化と日常生活への影響③								
第15回	老化に伴うからだの変化と日常生活への影響④								
教科書・参考書					受講生へのメッセージ				
「発達と老化の理解」新介護福祉士養成テキスト 中央法規					高齢者のこころとからだについてよく理解することが介護の質の向上につながります。学習した内容は他の教科とも連動します。難しい言葉もありますがしっかり理解していきますしょう				